

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	保健体育Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0032		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	名取キャンパス一般科目		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	特になし				
担当教員	柴田 尚都,古内 孝明,石井 裕子				
到達目標					
<p>1. 授業で扱われる 柔道、水泳、球技の各運動種目の基本技術を習得し、それらの運動を実践できる。</p> <p>2. 各競技のルールを理解し、競技を楽しんで実施できる。</p> <p>事前学習（予習）：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を考えて整理しておくこと。</p> <p>事後学習（復習）：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
活動	全ての授業に参加し、積極的に活動をおこなう。		授業に参加し、積極的に活動を行う。		積極的な授業参加を行わない。
意欲・態度	授業のための準備、各種目の実施、諸注意等への配慮を自ら行うことができる。		授業のための準備、各種目の実施などを教員の指示によってできるようになる。		授業の準備、各種目の実施について、行うことができない。
技能	各種目の技能を正確に実施することができ、クラスメイトに適切なアドバイスができる。		各種目の技能を理解し実施することができる。		各種目の技能を理解できず、実施できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	運動における競争や協同の経験を通して公正な態度を養う。自己の最善をつくし、相互に協力して、個人や集団の目標実現に向かって努力する能力や態度を養う。社会生活における望ましい行動のしかたを身につける。				
授業の進め方・方法	スポーツの実践を中心に授業を進めていく。1. 各種目の競技特性、競技の楽しみ方などを説明 2. 各種目のルールの理解および技術の習得トレーニング 3. 各競技の実施 各種目ごとに以上の順番を基本として授業を行っていく。				
注意点	体育は身体活動による学習である。ほとんどのスポーツは他者と共通の空間と時間を共有することで成立する。したがって、授業では、十分に周囲の安全に留意しなければならない。また学校指定の運動着及び体育館シューズを着用する。外用シューズ・柔道着・水着は各自適したものを用意すること。身体的事情で長期見学する場合は医師の診断書を提出すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	保健体育オリエンテーション	1年間の保健体育の授業の流れを理解する	
		2週	新体カテストを実施	新体カテストが出来る	
		3週	新体カテストを実施	新体カテスト	
		4週	柔道	2年次の復習	
		5週	柔道	基本的な投技を身につける	
		6週	柔道	基本的な投技を身につける	
		7週	柔道	基本的な投技を身につける	
		8週	柔道	乱取り稽古ができる	
	2ndQ	9週	柔道	試合ができる	
		10週	水泳	キック動作が出来る	
		11週	水泳	ストロークが出来る	
		12週	水泳	コンビネーションを理解する	
		13週	水泳	コンビネーションが出来る	
		14週	水泳	コンビネーションが出来る	
		15週	水泳（スキルテスト）	スキルテストに合格する	
		16週	水泳（スキルテスト）	スキルテストに合格する	
後期	3rdQ	1週	サッカー	様々なキックを理解する	
		2週	サッカー	様々なキックが出来る	
		3週	サッカー	様々なキックが出来る	
		4週	サッカー	パス&コントロールを理解する	
		5週	サッカー	パス&コントロールが出来る	
		6週	サッカー	サッカーの試合を理解する	
		7週	サッカー	ミニゲームが出来る	
		8週	サッカー	ミニゲームが出来る	
	4thQ	9週	サッカー	ゲームが出来る	
		10週	サッカー	ゲームが出来る	
		11週	バドミントン	ラケットの持ち方、シングル、ダブルスのコートとルールを理解する	

	12週	バドミントン	基本的なスイングと構え、サーブが出来る
	13週	バドミントン	クリア、ドロップが出来る
	14週	バドミントン	ストレート、スマッシュが出来る
	15週	バドミントン	試合が出来る
	16週	バドミントン	試合が出来る

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	活動点（授業参加）	意欲（取組）	態度	技能	合計
総合評価割合	40	20	20	20	100
分野横断的能力	40	20	20	20	100